

◇入学後、友だちとトラブルの多い児童

【Q】 小学校に入学して1カ月以上過ぎましたが、学校で友だちとのトラブルが多いと、担任の先生から聞きました。強い口調で主張したり、時には手が出たりすることもあるようです。

家での弟との関係を見ても、自分中心で強引です。どうすれば、友達と仲よく過ごせるようになるのでしょうか。

【A】 入学したてのお子さんは、新しい環境や、大勢の友達との関わりに、とまどうことも多いと思います。学校生活に慣れ、集団生活のルールが理解できると、少しずつ落ち着いてくるものです。しかし中には、相手の立場に立って考えたり、場面の状況をつかんだりすることが苦手なため、人と上手に関わることができないお子さんがいます。また、自分の行動をうまくコントロールできないため、結果的に相手に不快な感情をあたえたり、場にそぐわない行動を取ったりしてしまうお子さんもいます。そういったお子さんには、次のような配慮をお願いします。

①どうすればよいかを具体的に

場面をとらえて、こんな時、相手はどう思いどんな気持ちになるかを、そのつど伝えましょう。また、例えば「〇〇ちゃんは、言われていやだったんだよね。でもお友達はたたかれると痛いし、けがをするよ。それにとても悲しい気持ちになるよ。これからは言葉で伝えようね。」など、本人の気持ちも受け止めたうえで、どうすればよいのかを具体的に言い添え、行動できるように配慮することが大切です。

②段階を踏んで、少しずつ

自分の行動をコントロールすることが課題のお子さんには、はじめからすべてのトラブルを防止しようとするのではなく、まず暴力に訴えない方法をとらせる等、段階を踏んで少しずつ、上手な関わり方を教え、できたかどうかを本人がわかるように、伝えましょう。

③できたら認め、ほめ、自信づくりを

暴力をふるわなかった、けんかの回数が減った等、他の子どもにとっては当たりまえのことでも本人のがんばりを認め、ほめましょう。自分にもできるのだという自信が肯定的な対人関係づくりにつながります。

周囲のちょっとした配慮が、お子さんの安定へとつながります。もし、友達とのトラブルが続き、学校生活に著しい支障をきたすようでしたら、教育相談機関へご相談ください。

川崎市立教育センター分室（リバーラ）でも、教育に関わる様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。